



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日

上場会社名 株式会社京都きもの友禪ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7615 URL <https://www.kyotokimonoyuzenholdings.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅香 竜也
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 (氏名) 渡部 真由 (TEL) 03-3639-9191
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,194	△32.8	△316	—	△319	—	△322	—
2024年3月期第1四半期	1,777	△9.0	△188	—	△192	—	△196	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △322百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △196百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△28.65	—
2024年3月期第1四半期	△17.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	8,752	2,387	27.3	212.31
2024年3月期	8,914	2,710	30.4	240.77

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,387百万円 2024年3月期 2,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,655	△19.5	△292	—	△308	—	△380	—	△33.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	12,498,200株	2024年3月期	12,498,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	1,250,886株	2024年3月期	1,241,154株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	11,256,618株	2024年3月期1Q	11,210,810株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式 (2025年3月期1Q 335,800株、2024年3月期 335,800株) が含まれております。また、「株式給付型E S O P」が保有する当社株式 (2025年3月期1Q 335,800株、2024年3月期1Q 351,300株) を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(会計方針の変更に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の回復などから穏やかな回復傾向がみられた一方、中東情勢の悪化やウクライナ侵攻の長期化等の不安定な海外情勢の継続や、円安を背景とした原材料等の物価上昇による企業利益圧迫など、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、店舗の損益改善のため、仕入・販売プロセスの見直しや広告・販促施策の改善を行ってまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高については、前年同期比32.8%減の1,194百万円となりました。利益面においては、抜本的なコスト構造の見直しを行い、固定費を含めた経費全体の削減・効率化を図ってまいりましたが、前述のとおり売上高が減少したことから、営業損失は316百万円（前年同期は営業損失188百万円）、経常損失は319百万円（同 経常損失192百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は322百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失196百万円）となりました。

「和装事業」における売上区分別の状況は次のとおりです。

(一般呉服等)

既存顧客を対象とした「一般呉服」等については、期初より催事の開催形式、商品構成、価格の見直し等を行い平均単価は上昇しましたが、4月から5月にかけて来場者数が特に落ち込んだことから、受注高は前年同期比19.6%減となりました。

(振袖)

「振袖」販売及びレンタルについては、商品ラインナップやキャンペーン企画の見直し等により平均単価は上昇いたしました。一方、広告施策については抜本的な見直しを進めておりますが、広告効果の発現には一定の時間を要することから来場者数の回復には至っておらず、当第1四半期の受注高としては前年同期比15.5%減となりました。

(写真撮影)

「写真撮影」関係については、写真スタジオ「クラネ」を中心に運営しており、前期より継続して進めている和装店舗との連携強化、商品単価アップ等の施策が奏功し、売上高は前年同期比120.8%増の72百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「和装事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。詳細は、「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、6,650百万円となりました。これは、主に商品及び製品が68百万円増加したこと、また、売掛金が146百万円、前払費用が35百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、2,102百万円となりました。これは、主に敷金及び保証金が37百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、8,752百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、5,963百万円となりました。これは、主に前受金が322百万円、買掛金が58百万円それぞれ増加し、預り金が51百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、401百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、6,364百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて11.9%減少し、2,387百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失が322百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2024年5月13日に発表した業績予想から変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度末において和装店舗運営事業における売上高の大幅な減少が継続した結果、多額の損失を計上し、金融機関からの借入金について財務制限条項に抵触いたしました。このことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在していると認識しております。当社グループは、2025年3月期を抜本的な収益性確保のための再生フェーズと位置付け、コスト構造の見直し、販売戦略等を中心に据え、業績回復に向けた施策を優先的かつ速やかに取り組むとともに、資金面においても、当第1四半期連結会計期間末における資金残高の状況及び中長期的な資金繰りを検討した結果、当面の事業活動の継続性に懸念点はないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477,979	2,498,157
売掛金	2,523,154	2,376,184
商品及び製品	1,158,272	1,226,472
原材料及び貯蔵品	25,510	21,899
前払費用	508,116	472,614
その他	85,592	55,353
流動資産合計	6,778,626	6,650,682
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	6	5,373
有形固定資産合計	6	5,373
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
差入保証金	1,455,250	1,455,250
敷金及び保証金	674,537	637,178
その他	6,283	4,223
投資その他の資産合計	2,136,071	2,096,651
固定資産合計	2,136,077	2,102,024
資産合計	8,914,704	8,752,707

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,556	174,704
短期借入金	1,300,000	1,300,000
リース債務	24,656	24,483
未払法人税等	12,768	2,924
前受金	799,831	1,122,755
預り金	2,419,684	2,367,846
賞与引当金	51,100	20,050
前受収益	407,863	377,288
契約負債	226,950	257,741
その他	425,211	315,849
流動負債合計	5,784,622	5,963,643
固定負債		
リース債務	19,270	13,359
株式給付引当金	1,554	1,554
資産除去債務	398,865	386,255
固定負債合計	419,690	401,169
負債合計	6,204,313	6,364,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	464,292	464,292
利益剰余金	2,877,034	2,554,536
自己株式	△730,935	△730,935
株主資本合計	2,710,390	2,387,893
純資産合計	2,710,390	2,387,893
負債純資産合計	8,914,704	8,752,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,777,082	1,194,761
売上原価	723,774	497,512
売上総利益	1,053,307	697,249
販売費及び一般管理費	1,242,266	1,013,291
営業損失(△)	△188,958	△316,042
営業外収益		
受取利息	5	63
雑収入	1,377	804
営業外収益合計	1,382	868
営業外費用		
支払利息	4,470	4,378
雑損失	207	11
営業外費用合計	4,678	4,389
経常損失(△)	△192,254	△319,563
税金等調整前四半期純損失(△)	△192,254	△319,563
法人税、住民税及び事業税	3,013	2,933
法人税等調整額	774	—
法人税等合計	3,788	2,933
四半期純損失(△)	△196,042	△322,497
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△196,042	△322,497

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△196,042	△322,497
四半期包括利益	△196,042	△322,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,042	△322,497
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社は「和装事業」の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は、従来「和装店舗運営事業」「その他事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「和装事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、2021年3月期より和装関連の周辺事業として新たに開始したオンライン着付教室事業やネイルサロン事業等の「その他事業」を一部終了もしくは縮小し、当社グループの事業展開、経営資源配分等における意思決定のプロセスや実態を考慮した結果、「和装事業」の単一セグメントとして開示することが、当社グループの経営実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更により前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	18,106千円	100千円